事業番号 2023 - 文科 - 22 - 0240

		令和5年	度行政事業レビュ	ューシート	文部科学省)						
事業名	人文学·社会科学を	・ ・軸とした学術知統合プロジェク		担当部局庁	研究振興局		作成責任者				
事業開始年度	令和2年	事業終 (予定)		变 担当課室	振興企画課	学名	術企画室長 子 学				
<u>会計区分</u>	一般会計			•		1					
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する 計画、通知等	等6期到学技徒。/	統合イノベーション戦略2021(令和3年6月18日閣議決5 第6期科学技術・イノベーション基本計画(令和3年3月26 決定)					
政策	8 知のフロンテ	ィアを開拓し価値創造の	源泉となる研究力の強化	5							
		学術研究の振興 ext.go.jp/content/202210)12	<u>主要経費</u>		科学技術振興費					
以來体术"計画書URL	000024706-04.c 現状において解え	odf	5るいは未だ顕在化していた	 い社会的課題を見据えて	 、未来社会の構想のために	こ、我が国の人文学・社会和	4学の知がどのように貢献で				
現状・課題 (5行程度以内)		より得た成果・知見等を今後									
	第6期科学技術・イノベーション基本計画等で人文学・社会科学の重要性が指摘される中、30~50年先の国際社会や我が国社会を見据えた長期的な視座が必要なもので、かん文学・社会科学が中心となって取り組むことが適当と考えられる諸問題(以下「大きなテーマ」という。)の下、人文学・社会科学の研究者が中心となって、自然科学の研究者にとより、産業界や市民社会などの多様なステークホルダーが知見を寄せ合って研究課題及び研究チームを創り上げていくための環境を整備し、大きなテーマごとに、毎年度、研課題を設定するとともに、当該研究課題に対応した戦略的・実効的な研究チームを構築する。また、このことを通じて、未来社会の構想のために、我が国の人文学・社会科学のがどのように貢献でき、何をなし得るかを考察するプロセスを体系化する。										
事業概要URL	_										
<u>実施方法</u>	委託•請負										
補助率等	_										
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求				
		当初予算(A)	32	32	31.6	1	-				
		補正予算(B)	-		-	_					
						_					
						_					
						-					
	予算の 状況					_					
予算額・ 執行額						_					
(単位:百万円) (インプット)	前	年度から繰越し(C)	-	4	-	_	-				
(122)17	3	翌年度へ繰越し(D)	A 4	-	_	_					
		予備費等(E)	-	-	_	_					
	=(,	計(F) A)+(B)+(C)+(D)+(E)	28	36	31.6	-					
	<u> </u>	执行額(G)	26	34	30	30					
		l行率(%) =(G)/(F)	93%	94%	95%	95%					
	当初予算+補注 の	正予算に対する執行額 D割合(%) D)/{(A)+(B)}	81%	106%	95%	95%					
		出予算項·目	令和5年度当初予算	令和6年度要求		よ増減理由(•要望額•予·	備費)				
令和5•6年度 予算内訳 (単位:百万円)	(項) (目)				令和4年度で事業終了 	予和4年度で争耒終「					
	l	<u>∓</u> +(Δ)	_	_	İ						

活動内容(アクティビテ	r U	題·研究チームの構築を推進する。 					こ研究課題・研	元	剧 9 る场で掟		
1											
舌動目標及び活動実績		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見	
リロ 保及びた ① (アウトプッ		研究チームを構築するためのワーク	研究チームを構築するための ワークショップ等を行ったテー	活動実績	件	3	6	4	-	-	
())	76)	ショップ等の実施 	マ数	当初見込み	件	3	3	3	-	-	
設定 (アウ	定理由 フトプット つながり)	本事業は、3つの大きなテーマ(①「将に、分野を超えた研究者等が知見を寄テーマごとに「WSテーマ」を掲げてWSをそうしたWSにおいて、多様な参加者間創出されるということを当面の成果とし	せ合って研究課題・研究チームを と実施することとしている。 で意見調整・集約等が行われる。	を創り上げて 中でネットワ	ていく(共) ロークがで	割の場)ための	ものであり、そ	の具現化に向]けて、それぞ	れの大きな	
		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標	集年度 4 年	
果目標及び成果実績 ①-1				成果実績	件	4	3	3	3 3		
短期アウトス	カム)	研究チームの創出	創出した研究チーム数	目標値	件	3	3	3	3		
				達成度	%	133.3	100	100	1	00	
生的なアウ 関する成果! 成果目標 に短期ア	トカムに !実績 標①-2の 標の -2の	実績報告書及び文部科学省調べ 本事業では、成果目標①-1における「社会とも目指しており、当該成果目標を設定		え、更に外き	野資金を	隻得するなどに	より、それらの	つ研究チームか	「研究実践につ	つなげてい	
生的なアウ 関する成果! 成果目標 に短期ア	トカムに 実績 「標①-2の 定理由 アウトカム	本事業では、成果目標①-1における「		え、更に外部	部資金を発	獲得するなどに 令和2年度	より、それら <i>0</i> 令和3年度	つ研究チームか		長終年度	
生的な成果と関すが、大学のでは、一般では、大学のでは、まれば、大学のでは、まればればればればればればればればればればればればればればればればればればれば	トカムに 実績 「標①-2の 定理由 アウトがり) 成果実績	本事業では、成果目標①-1における「? とも目指しており、当該成果目標を設定	定量的な成果指標						目標最	長終年度	
性的な成果 目標 ひのこと は では からの で は からの で がらの で がらの で がらの で がら からの で がら からの で がら	トカムに !実績 標①-2の 定理由 アウトカム つながり)	本事業では、成果目標①-1における「そとも目指しており、当該成果目標を設定 成果目標	定量的な成果指標 構築した研究チームの外部資金の獲得状況 (外部資金を		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最	と終年度 4 4	
生的な成果 目標 及び び 月 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	トカムに !実績 標①-2の 定理由 アウトカム つながり)	本事業では、成果目標①-1における「さとも目指しており、当該成果目標を設定 成果目標	定量的な成果指標構築した研究チームの外部資	成果実績	単位 %	令和2年度	令和3年度 50	令和4年度 25	目標最	最終年度 4 ⊈ 25	
生射	トカ績 「標理ウながり」 「中由カリ) 「中国カリ)」 「根理ウながり」 「根理ウながり」 「根理ウながり」 「根理ウながり」 「根理ウム」 「根理ウム」 「他に共し、 で、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	本事業では、成果目標①-1における「そとも目指しており、当該成果目標を設定 成果目標	定量的な成果指標 定量的な成果指標 構築した研究チームの外部資 金の獲得状況(外部資金を 獲得した件数/外部資金に応	成果実績目標値	単位 % %	令和2年度 40 30	令和3年度 50 30	令和4年度 25 30	目標最		
E	トカ績 「標理ウながり」 「中由カリ) 「中国カリ)」 「根理ウながり」 「根理ウながり」 「根理ウながり」 「根理ウながり」 「根理ウム」 「根理ウム」 「他に共し、 で、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	本事業では、成果目標①-1における「社会をも目指しており、当該成果目標を設定をはまます。 成果目標 横楽した研究チームによる外部資金の獲得	定量的な成果指標 定量的な成果指標 構築した研究チームの外部資 金の獲得状況(外部資金を 獲得した件数/外部資金に応	成果実績目標値達成度	単位 % % %	令和2年度 40 30 133.3	令和3年度 50 30 166.7	令和4年度 25 30	目標最	と終年度 4 を 25 30	
世界 ・	トカ績 「標理ウながり」 「中由カリ) 「中国カリ)」 「根理ウながり」 「根理ウながり」 「根理ウながり」 「根理ウながり」 「根理ウム」 「根理ウム」 「他に共し、 で、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	本事業では、成果目標①-1における「社会をも目指しており、当該成果目標を設定をはまます。 成果目標 横楽した研究チームによる外部資金の獲得	定量的な成果指標 構築した研究チームの外部資金の獲得状況(外部資金を 獲得した件数/外部資金に応募した件数)	成果実績目標値達成度	単位 % % %	令和2年度 40 30 133.3	令和3年度 50 30 166.7	令和4年度 25 30	目標最		
世界	RezPo	本事業では、成果目標①-1における「社会をも目指しており、当該成果目標を設定 成果目標 横築した研究チームによる外部資金の獲得 実績報告書及び文部科学省調べ	定量的な成果指標 構築した研究チームの外部資金の獲得状況(外部資金を 獲得した件数/外部資金に応募した件数)	成果実績目標値達成度	単位 % % %	令和2年度 40 30 133.3	令和3年度 50 30 166.7	令和4年度 25 30	目標最	と終年度 4 を 25 30	
生財	Rez	本事業では、成果目標①-1における「社会をも目指しており、当該成果目標を設定 成果目標 横築した研究チームによる外部資金の獲得 実績報告書及び文部科学省調べ	定量的な成果指標 構築した研究チームの外部資金の獲得状況(外部資金を 獲得した件数/外部資金に応募した件数)	成果実績目標値達成度	単位 % % %	令和2年度 40 30 133.3 ムを設定してし	令和3年度 50 30 166.7	令和4年度 25 30	目標最		
生身	Rez	本事業では、成果目標①-1における「社会をも目指しており、当該成果目標を設定 成果目標 横築した研究チームによる外部資金の獲得 実績報告書及び文部科学省調べ	定量的な成果指標 構築した研究チームの外部資金の獲得状況(外部資金を獲得した件数/外部資金に応募した件数)	成果実績目標値達成度	単位 % % %	令和2年度 40 30 133.3 ムを設定してし	令和3年度 50 30 166.7	令和4年度 25 30	目標最	長終年度 4 年 25 30	
性期	Rez	本事業では、成果目標①-1における「社会をも目指しており、当該成果目標を設定 成果目標 横築した研究チームによる外部資金の獲得 実績報告書及び文部科学省調べ	定量的な成果指標 構築した研究チームの外部資金の獲得状況(外部資金を獲得した件数/外部資金に応募した件数)	成果実績目標値達成度	単位 % % %	令和2年度 40 30 133.3 ムを設定してし	令和3年度 50 30 166.7	令和4年度 25 30	目標最	長終年度 4 年 25 30	
性関	小実 標定アウ 成 力 目 目 1 (小実) 小実 標理ウな 果 ム 標に出力績 20 カリ) 実) 値た典ム はた典ム の)に 本 RL 本 の より 本 の)に	本事業では、成果目標①-1における「社会をも目指しており、当該成果目標を設定 成果目標 横築した研究チームによる外部資金の獲得 実績報告書及び文部科学省調べ	定量的な成果指標 構築した研究チームの外部資金の獲得状況(外部資金を獲得した件数/外部資金に応募した件数)	成果実績目標値達成度	単位 % % %	令和2年度 40 30 133.3 ムを設定してし	令和3年度 50 30 166.7	令和4年度 25 30	目標最	長終年度 4 年 25 30	
性男	小実 標定アウ 成 力 目 目 1 (小実) 小実 標理ウな 果 ム 標に出力績 20 カリ) 実) 値た典ム はた典ム の)に 本 RL 本 の より 本 の)に	本事業では、成果目標①-1における「をとも目指しており、当該成果目標を設定 成果目標 横築した研究チームによる外部資金の獲得 実績報告書及び文部科学省調べ	定量的な成果指標 構築した研究チームの外部資金の獲得状況(外部資金を獲得した件数/外部資金に応募した件数)	成果実績目標値達成度	単位 % % %	令和2年度 40 30 133.3 ムを設定してし	令和3年度 50 30 166.7	令和4年度 25 30	目標最		

事業所管部局による点検・改善事業所管部局による点検・改善																							
点検結男	令和4年度においても、大きなテーマごとに、研究課題を設定するとともに、当該研究課題に対応した学際的な研究チームを構築することができ、外部資金への応募及び獲得につながったことが確認された。また、人文学・社会科学の研究者が中心となって、社会課題に向き合うための考察のプロセスを体系化するための知見が得られた。なお、費目・使途について、事業目的に即し真に必要なものに限定するなど、効率的に実施した。 「大事業目的に即し真に必要なものに限定するなど、効率的に実施した。 「大事業目的に即し真に必要なものに限定するなど、対率的に実施した。 「大事業目的に即し真に必要なものに限定するなど、対率的に実施した。										- ムを いされ : は、 素計 いた件												
改善の 令和4年度までに得られた本事業の成果・知見等について、現在、審議会の下に設けている特別委員会(人文学・社会科学特別委員会)で検討 方向性 の人文学・社会科学の振興に係る検討・企画等に活用し、当該分野の効果的な振興・推進を図る予定である。													正を行っ	ており、	. 今後								
	外部有識者の所見																						
外部有識者によん	る点検対	象外																					
						行政事	業レビ	`:	推進ヲ	F— <i>1</i>	の所見	に至る	過程及	なが所	見								
終了予定						4年度をもっ いては適切				5.													
									-	i/概算	算要求に	おける	反映物	犬況									
予定通り終																							社会
		17十十1寸刀	一女只工	: / C1天		いった 公開プロセ											±}'\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	木叩る	派央	進で囚る.	/ JE (0)	୬ ତ	
						ムmノロし	- 八 1人	· • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	ハムげ	ם איניי פ	止(1人(ハ) [/1 ~ 63	11705	ひりみ								
									上	記へ	の対応も	犬況 ———											
過去に受けた指 と対応状法																							
			その他の指摘事項																				
			上記への対応状況																				
									上	記へ	ひりがいむ	人 近											
										備	——— i考												
_																							
							関連	するi	過去の	レビ	ューシー	の事業	番号										
 平成23年度	<u> </u>																		Т				
平成24年度	_																						
 平成25年度	_																						
 平成26年度	_																		+				
 平成27年度	_																		+				
平成28年度	_																		+				=
平成29年度	_																		+				
平成30年度	_																		+				
令和元年度	文部科学	省 -	新32	-	0017				Τ										+				\top
令和2年度	文部科学		新02	+	0020	+		+	+	+				+	+	+		+	+		++		+
令和3年度	2021			20	0217	_			 			1			1				+		+	<u> </u>	+
令和4年度	2022	文科		21	0215	+			+			+					-	-	+	+			+
1-11-11/2		- > 1-1		-		l	l l					1	l	1	I		1			I			1 1

※. 金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。 職員旅費 0.2百万円 文部科学省 委員等旅費 0.1百万円 30百万円 を含む 【随意契約(企画競争)】 A. 国立大学法人大阪大学 30百万円 大きなテーマのもと、人文学・社会科学の研究者が中心 となって、自然科学の研究者はもとより、産業界や市民 資金の流れ 社会などの多様なステークホルダーも関与する形で知見 (資金の受け取り先が 何を行っているかについて補足する) を寄せ合って、社会課題に向き合うための考察のプロセ スを体系化するための環境を整備する。 (単位:百万円) A. B. 金額 金額 費目 費目 使 途 使 途 費目•使途 共創の場形成に係る諸経費(会場借料、旅費、謝金 等) (百万円) (百万円) (「資金の流れ」において ブロックごとに最大の金 業務実施費 15 額が支出されている者に 人件費 業務実施にかかる人件費 11 ついて記載する。費目と 使途の双方で実情が分 設備備品費 業務実施にかかる設備備品費 かるように記載) -般管理費 30 計 計 費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載 チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	法 人 番 号	業務概要	支 出 額(百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	国立大学法人大阪大学		人文学・社会科学の研究者が中心となって、社会課題に向き合うための考察のプロセスを体系化するための環境を整備	30	随意契約(企画 競争)	10	100%	
	支出先上位1	チェック						